

# 質問書に対する回答

件 名:消防業務用GISの構築・導入業務委託

質 問 事 項	回 答
・資料名 :業務説明書 ・資料関連項目 :「16 業務概要」(9)現地設定調整 ”・・・、当局指定の場所(横浜市内)において本システム機器の設定を行うこと。端末の収集が必要な場合・・・”とあります。 ・質問項目 :端末台数について ・質問事項 :①想定されている端末の台数を教えてください。	モバイルデバイス(消防業務用タブレット・査察モバイルデバイス)について事業者側での設定が必要な場合を想定して記載していますが、証明書配信や各ユーザーによる設定作業で対応可能な場合は現地設定の対応は不要です。 なお、消防業務用タブレット(iPad)は138台、査察モバイルデバイス(タブレットPC)は33台です。
・資料名 :業務説明書 ・資料関連項目 :「12 システム機能要件」図表8-1 消防業務用GISの機能 No.1 地図表示機能 ”背景図を表示する機能。背景地図のうえに、No2～No7の情報をレイヤ表する。”とあります。 ・質問項目 :背景地図について ・質問事項 :①背景地図は発注者様より貸与いただけますでしょうか？ ②受注者側準備の場合、横浜市のみの地図でよろしいでしょうか。	①背景地図の貸与はありません。本委託での調達内容に含みます。 ②現行のGISでは、神奈川県まで表示可能、横浜市及び隣接する自治体についてはさらに詳細な住宅地図が表示可能となっていますので、同様の仕様を想定しています。
・資料名 :業務説明書 ・資料関連項目 :「12 システム機能要件」図表8-1 消防業務用GISの機能 No.4 災害受信表情報機能 ”各消防隊が現場にて活動記録や画像を地図上に記録できるようにする。”とあります。 ・質問項目 :活動記録・画像(ドローン映像) ・質問事項 :①ドローン映像やタブレット等で撮影した画像・映像は中継サーバ経由で提供されるのでしょうか？	各消防隊が現場でタブレット等のモバイルデバイスを使って撮影した画像・映像は、モバイルデバイスからインターネット経由でGISに端末内のデータをアップロードする想定です。 ドローン映像で撮影した画像・映像は、インターネット経由でドローン端末からGISへの自動連携を想定しています。自動連携の仕様については、ドローン側のサービスとのAPI連携を想定しています。ドローン端末からの手動アップロードについては端末内に保存した画像・映像のアップロードとなります。 なお次世代消防業務システムに保存された画像を中継サーバ経由で提供することは考えられます。
・資料名 :業務説明書 ・資料関連項目 :「12 システム機能要件」(8)初期データ作成・取込要件 ”・・・各静的レイヤのデータは、当局が提供する住所情報等をもとに受託者が作成すること。・・・”とあります。 ・質問項目 :初期データ作成 ・質問事項 :①”住所情報等”には座標値は含まれますか？ ＜住所情報等に座標値を含まない場合＞ ②受注者が提供された住所をジオコーディングすることになります が、提供される住所情報はすべて正確との理解でよろしいでしょうか？ ③可能であれば静的レイヤ18個の住所情報等の合計件数を教えてください。	①座標値を含むものと含まないものが混在しています。 ②正確な住所情報として取り扱って差し支えありません。 ③概算件数:30,000～40,000件
・資料名 :業務説明書 ・資料関連項目 :「13 その他要件」(4)処理能力要件 ア 応答時間 ”・・・なお、消防業務においては消防業務用GISをYCAN端末(横浜事事務用端末)やモバイルデバイス上で操作することを想定しているが、・・・”とあります。 ・質問項目 :システム構築関連 ・質問事項 :上記のYCAN端末(横浜事事務用端末)やモバイルデバイスはインターネット環境に設置されるとの理解でよろしいでしょうか？	ご認識のとおりです。YCAN端末はKSC(神奈川県情報セキュリティクラウド)経由、モバイルデバイスはキャリア・BWA回線を利用してアクセスします。
・資料名 :「別紙4_外部インターフェース一覧」 ・資料関連項目 :「別紙4_外部インターフェース一覧」 ”※ 本調達の対象は、消防業務用GISシステムと関係する 外部インターフェースのみとする。”とあります。 ・質問項目 :本委託業務における外部インターフェース ・質問事項 :①「別紙4_外部インターフェース一覧」に示される ・「データ作成元システム」が “中継サーバ” ・「データ連携先システム」が “消防業務用GIS” の外部インターフェースが本委託業務の対象との理解でよろしいでしょうか？ ②「別紙4_外部インターフェース一覧」の67項に示される、 ・「データ作成元システム」が “指令システム” ・「データ連携先システム」が “消防業務用GIS” も本委託業務の対象との理解でよろしいでしょうか？	①お見込みのとおりです。 ②対象となります。なお、指令システムのデータは中継サーバ経由でGISへ連携します。
GIS mini(現行GIS縮小版)の機能一覧を展開頂きたい。 また、GIS miniを利用する期間についてもご教示頂けますでしょうか。  参照 業務説明資料 1頁 5 業務範囲 図表5-1消防業務用GIS導入後の業務・システムの全体像	GISminiは次世代消防業務システム(OAシステム)の一部機能を補完するためのGISです。機能としては次のとおりです。 ・届出や建物情報等の座標登録機能 ・水利充足度に係る計算機能  そのため利用期間は次世代消防業務システムと同期間(令和9年以降継続利用)です。

質問書に対する回答

件 名：消防業務用GISの構築・導入業務委託

質問事項	回答
<p>障害対策（事業継続対応）のシステムの可用性確保 PTOは2時間以内の復旧である旨承知しております。 RPO（障害発生時に「どこまでのデータ消失を許容できるか」を示す指標）について、下記ご確認 させていただきたいです。 バックアップデータの復旧が必要となった場合、許容データ損失期間をご提示ください。 【いただきたい回答例】 ①24時間以内。 ②数時間以内。 ③データ損失を一切許容しない。</p> <p>参照 業務説明資料 20頁 5 業務範囲 12 システム構築要件 (5)セキュリティ要件 イ 不正アクセス対策 図表12-4情報セキュリティに係る対策</p>	<p>RPO(目標復旧時点)は障害発生した時点としているため、「③データ損失を一切許容しない」ことを想定していますが、詳細な要件は契約時に協議します。</p>
<p>システムの利用時間に関して 「天災等により情報システムの設置場所が完全に滅失した場合に備え、バックアップデータは異なるデータセンタに保持する」とありますが、東京リージョン内の、別のデータセンタにバックアップを要すると読みとるべきか、大阪リージョンにバックアップを保持するのか、どちらを想定されて おりますでしょうか。</p> <p>参照 業務説明資料 23頁 13 その他の要件 (3) システムの利用時間 ア 天災等により情報システムの設置場所が完全に滅失した場合に備え、バックアップデータは異なるデータセンタに保持する等の対策をすること。</p>	<p>別リージョンへの保持が望ましいですが、コスト面を考慮し、同一リージョン内の別データセンターへの保持も想定しています。提案に基づき契約時に協議とします。</p>
<p>提案書作成要領 6 提案書の内容 (3)イ⑥</p> <p>構築要件のデモ環境とはどのような用途での利用を想定していますか？デモ環境構築に関する費用を算出するためにどの程度の期間の稼働とアクセス数を想定しておくべきか確認したいためです。</p>	<p>デモ環境は要件定義や設計段階における主にUI・UXの検証、職員が新システムの利用イメージをつかむ目的として、汎用的にデモを行える環境を想定しています。</p> <p>使用期間は概ね要件定義・設計から本番環境の正式稼働までの期間を想定しており、同時アクセス数については数十人程度を想定しています。</p> <p>開発工程上、デモ環境を本番環境と物理的又は論理的に切り分ける必要がない場合には、本番環境と同一の環境を用いることも可とします。詳細は契約締結時に協議のうえで決定するものとします。</p>
<p>提案書作成要領 6 提案書の内容 (5)エ</p> <p>「会社名が推定できる記載（システムの名称ほか）は行わないでください」とありますが、採用予定の製品名・サービス名（例：AWS等）の記載は問題ないでしょうか？</p>	<p>会社名が推定されない範囲での記載は差し支えありません。（例示のAWSは広く利用されるサービス名として会社名が推定されないと考えます。）</p>
<p>業務説明資料 4 業務目的</p> <p>「大規模災害発生時のリアルタイムな情報共有を可能にするを旨とする」の記載があります。この記載は令和7年3月 横浜市消防局 次世代消防基本方針の第2章 消防業務システムを取り巻く環境 第3節 3.GIS機能の改善に「現行運用では災害時のリアルタイムな情報共有が十分ではないという課題がある」の記載を受けてのことかと存じます。 現状できている情報共有方法についてと十分でないと考え理由を教えてください。</p>	<p>現状は災害現場からシステムにアクセスすることができないため、電話・無線機による口頭で情報共有を行っています。</p> <p>現行運用では、次のような課題があります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大規模災害時の災害事案データは、システム間のデータ連携に課題があり、災害の告知から情報集約までに時間を有していること</li><li>・災害現場からシステムにアクセスすることができないため、電話・無線機による口頭の情報共有により、災害対応を行っているため、リアルタイムに進行する災害状況を視覚的にとらえることができないこと</li></ul>
<p>業務説明書 6 業務概要 (5)ハードウェア設定、インフラ ストラクチャ構築</p> <p>査察モバイル端末の記載がありますが、消防業務用タブレットと同じiPadの想定でよろしいでしょうか。 違う場合は、タブレットのOSなど想定しておくべきスペックをご提示いただけないでしょうか。</p>	<p>査察モバイル端末のOSはWindows11Proとなります。 スペックについてはNEC製VersaPro タイプVS V1M47/S4-M相当を想定していますが、機種については同等品となる可能性があります。</p>
<p>業務説明資料 10 認証機能 (1)YCAN端末</p> <p>アに「当局別システムから提供する職員情報」と記載がありますが、提供されるものは職員情報のみでしょうか。 今後の異動などで部署変更があった場合は、見えるデータの範囲など変更箇所はあるでしょうか。</p>	<p>「職員番号」、「氏名」、「所属」、「階級」、「職位」等の職員情報となります。閲覧範囲の設定は所属単位での設定が可能であることが必要です。</p>
<p>業務説明資料 12 システム構築要件 (2)YCAN端末要件</p> <p>モバイルデバイスに関して、消防業務用タブレットと査察モバイル端末それぞれの台数の想定について教えてください。</p>	<p>消防業務用タブレット(iPad)は138台、査察モバイル端末(タブレットPC)は33台を想定しています。</p>

質問書に対する回答

件 名: 消防業務用GISの構築・導入業務委託

質 問 事 項	回 答
業務説明資料 12 システム構築要件 (2) YCAN端末要件  消防業務用GISと接続される中継サーバは本番環境以外にテスト環境、開発環境等はないという認識で良いでしょうか？テストのためのドライバーやスタブ、モックが必要かを気にしています。	テスト環境、開発環境はありません。 中継サーバにAPI連携機能構築後(令和8年10月以降)にテストを行う想定です。 事前にWebAPI機能を実装するにあたり、内部試験等で必要な場合はスタブ、モック等の準備をお願いします。
業務説明資料 12 システム構築要件 (3) クラウド要件  「当局の指示によらない限り、一切の情報資産について日本国外への持ち出しを行わないこと。」について、必要に応じて国外への持ち出しを相談することは可能でしょうか？  例: 可用性向上のために国外にDNSレコード情報を保存する、応答速度向上のために国外に静的ファイルのキャッシュ情報を保存する、クラウドサービスのユーザー情報(AWSだとIAMのコントロールプレーン情報)を国外に保存する、など	本市が保有するデータについては、セキュリティの観点から国内に保存することとしており、可用性や応答速度向上を目的とした国外へのデータ保存は原則としてできません。 なお、クラウドサービスの仕様上ユーザー情報等が国外に保存される場合については相談可能です。
業務説明資料 12 システム構築要件 (4) ネットワーク要件  ネットワーク構成の冗長化について記載がありますが、適用範囲は今回構築するAWS内のみが対象ということでしょうか？	考え方についてはご認識のとおり、クラウド環境内のみが対象になると想定しています。
業務説明資料 12 システム構築要件 (4) ネットワーク要件  中継サーバと消防業務用GIS間の通信はインターネット経由で問題ないでしょうか？専用線やVPNを経由した通信が不要かを気にしています。	KSC(神奈川情報セキュリティクラウド)を経由したインターネット回線による通信です。
業務説明資料 12 システム構築要件 (4) ネットワーク要件  今回構築するクラウドシステムと横浜市様との接続は、VPN接続が必須などの要件はありますでしょうか。VPN接続が必要な場合は、横浜市様側の接続設定作業は、今回の調達に含めるべきでしょうか。 お客様のほうで設定いただけますでしょうか。	KSC(神奈川情報セキュリティクラウド)を経由してのインターネット接続となります。 VPN接続は不要です。
業務説明資料 12 システム構築要件 (5) ネットワーク要件  障害対策(事業継続対応)に関して、目標復旧時点(RPO)の要件はございますか？ 日次バックアップからの復旧で問題ないでしょうか？	RPO(目標復旧時点)は、障害発生した時点进行想定しています。
業務説明資料 12 システム構築要件 (8) 初期データ作成・取込要件  システム移行計画の具体については、詳細設計で決定すると記載がありますが、現行WebGISで作成したプロジェクトファイルや作図した図形などは対象となりますでしょうか？	原則、対象外です。
業務説明資料 12 システム構築要件 (8) 初期データ作成・取込要件  モバイルからのアクセスが必要との事ですが、クライアント証明書などを配布する場合は、証明書配布する仕組みはお客様でお持ちでしょうか。	モバイル端末への証明書配付はMDM等を使用し委託者(当局)側で対応します。
別紙4 外部インターフェース一覧 4 救急事業連携  連携方式にAPI連携と記載がありますが、備考欄には「1回／15秒毎のSFTP転送を行う。」と記載されていますが、SFTPで連携でよろしいでしょうか？	備考欄に記載のSFTP転送は現行のオンプレミス環境間(中継サーバと現行GIS)で行っている連携方法に対する補足です。 本委託で構築していただくシステムは、記載のとおりAPIによる連携を想定しています。
別紙4 外部インターフェース一覧 67 動態位置情報  データ作成元システムが指令システムとなっています。消防業務用GISには中継サーバと連携する想定との記載がありますが、記載内容について間違いではないでしょうか。	現行仕様としては、指令システム → 消防業務用GIS に連携しています。 次期仕様では、指令システム → 中継サーバ → 消防業務用GIS へ連携する想定です。 別紙4については、現行仕様に合わせたデータ作成元システム名とデータ連携先システム名を記載しています。連携方式の詳細については業務説明資料のとおりです。